

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第5部門第2区分

【発行日】平成23年3月3日(2011.3.3)

【公表番号】特表2010-516954(P2010-516954A)

【公表日】平成22年5月20日(2010.5.20)

【年通号数】公開・登録公報2010-020

【出願番号】特願2009-545854(P2009-545854)

【国際特許分類】

F 17 C 13/04 (2006.01)

F 17 C 13/00 (2006.01)

【F I】

F 17 C 13/04 301Z

F 17 C 13/00 301Z

F 17 C 13/04 301C

【手続補正書】

【提出日】平成23年1月11日(2011.1.11)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

低温ガス発生器(11)の加圧ガスを充氣可能な耐圧容器(14)用の閉鎖デバイスであって、前記耐圧容器(14)は、低温ガス発生器(11)を形成する閉鎖デバイス(12)が配置可能である容器開口部(16)を備え、前記デバイスは、閉鎖位置にあるとき、環境と連通する少なくとも1つの出口(26)を閉じ、前記少なくとも1つの出口(26)を開く駆動装置(22)によって、作動位置へと移動されるバルブ本体(21)を有する、デバイスにおいて、

前記バルブ本体(21)は、バルブ・ボックス(18)内に滑動可能に配置され、前記バルブ・ボックス(18)内の前室(52)および前記耐圧容器(14)の加圧領域によって形成される主室(15)と連通し、

前記バルブ本体(21)は、サイズの等しい、またはサイズのほぼ等しい、前記主室(15)の方に向いた有効圧力面(37)と、前記前室(52)の方に向いた有効圧力面(44)とを有し、前記主室(15)の充填圧力にさらされることができ、

前記バルブ本体(21)は、大気圧が開口方向に作用する外側有効圧力面(64)と、前記大気圧が閉鎖方向に作用し、エネルギー蓄積部材(47)が係合する別の外側有効圧力面(48)とを有し、

開口方向に作用し、大気圧にさらされた前記外側有効圧力面(64)に起因する圧縮力が、閉鎖方向に作用し、大気圧にさらされた前記外側有効圧力面(48)および前記エネルギー蓄積部材(47)の力に起因する閉鎖力よりも低いことを特徴とする閉鎖デバイス。